

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	上海府デイサービスセンター	評価対象年度	令和 2 年度
指定管理者名	ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟	所管課	介護高齢課
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	評価者(課長)	大滝きくみ

①事業実績

利用実績	定員15.7人/日で302日開所。延べ利用人数3,193人(前年比185人増)
サービス向上の取り組み	運営推進会議(書面)の開催や利用者アンケートの実施・報告、日々のミーティングや職員会議で利用者の状態把握・検討を行い対応を実施。また、一月ごとにケアマネに状態とサービス内容の報告を行った。

②管理経費

(単位:千円)

区分	前々年度 (30年度)	前年度 (元年度)	当該年度 (2年度)	合計	備考	
収入	指定管理料	6,319	7,633	7,986	21,938	基本協定額:39,016,064円
	利用料金	1,687	1,669	1,788	5,144	
	自主事業収入					
	その他	23,512	22,475	24,504	70,491	
	計	31,518	31,777	34,278	97,573	
支出	管理経費	34,330	34,638	33,814	102,782	
	(うち人件費)	23,581	23,574	22,897	70,052	
	(うち光熱水費)	2,707	3,274	2,790	8,771	
	(うち修繕費)	222	256	417	895	
	(うち委託料)	794	981	1,203	2,978	
	自主事業費		30		30	
	計	34,330	34,668	33,814	102,812	
差引	▲ 2,812	▲ 2,891	464	▲ 5,239		

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由)					
利用者の計画に基づき、できることを奪わない介護、生きがいづくりに力を入れ、日々の変化に気づき早めに家族やケアマネージャーへ報告を行った。また、利用者数は横ばいであるが、延べ利用人数は徐々に増加しており、収支の改善がみられる。また、利用者家族の介護負担へ助言を行うなど、常に寄り添う姿勢で対応している。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	3	6.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	3	2.4	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
(評価理由)					
運営推進会議はコロナ感染防止のため書面開催となったが、施設の利用状況や行事、アンケート結果などを適宜報告している。また、日々のミーティング等から利用者の状態把握・検討を行い、ケアマネージャーとも情報交換、共有することで、より良いサービス提供に努めた。コロナ禍で自主事業の実施には至らなかったが、地域の広報やケアマネージャーなどから情報を収集し、地域との連携に努めた。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	3	6.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4
指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか					
(評価理由)					
ホームページや広報の発行で活動を紹介するなど、地域内外へ情報発信することで利用者の増加にもつながった。また、低価格での消耗品の購入やこまめな節電などを行い、経費削減に努めた。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	3	2.4
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守るができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) 看護・介護の人材不足が続いており、人材派遣やパート採用による体制確保に苦慮している。また、外部研修はコロナ禍で中止されることが多く、職員会議による内部研修を行い、資質向上を図った。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	3	2.4
	(評価理由) 消防用設備保守点検や特殊建築物定期調査業務、警備業務などは外部委託をしており、定期的な点検等も実施し、修理や交換が必要な場合は早急に修繕等を行った。また、施設等の点検は日々職員で行い、適切な管理運営に努めた。				

④総合評価

評価点合計	72.8	評価ランク	B
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

アンケート調査や家族からの相談などにより、利用者の要望等の把握に努め、職員間で検討・協議し業務改善に努めた。コロナ禍で地域との交流の促進が思うように行えなかったが、地域の情勢の把握を行い、施設の情報発信に努めており、管理運営は適正に実施されたと判断する。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

利用者は横ばいであるが、延べ利用者数は少しずつ増えており、地域との交流を図りながら安心安全な運営と引き続き利用者の増加に努めていただきたい。また、看護職をはじめとした人員体制の強化を図り、利用者への安定的なサービス提供に努めていただきたい。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のとおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。